

上広小学校の移転計画は 進んでいるか

答 7年度中には、建設委員会を立ち上げて、検討を行いたい



梶原 3号バイパスは、上広小のほぼ中央を通る。移転する必要があるのではないかと考える。

町長 郊外に移転する必要があるのではないかと考える。

梶原 学校を建てるに当たっては、どのような手順を踏むのか。

町長 国から町に対する説明、協議があった時、建て替えの必要がある場合には地元関係者も入った建設委員会を立ち上げる。

梶原 学校の建設には、学校の基本コンセプトや、移転先の決定、用地買収など時間がかかる。7年度には、建設委員会を立ち上げるべきではないか。

町長 遅れることがないように、7年度中には、建設委員会を立ち上げて検討を行いたい。

その他

水泳授業の民間委託より、複数校で利用する学校プール建設の可能性とともに、公教育における水泳授業の意義について質問した。諸般の事情から町内のプール建設は考えていないが、学校における水泳の授業は命を守る点からも必要であるとの回答を得た。



上広小学校の校舎



梶原 一美 議員

LGBT教育等を 実施するか

答 実施側の更なる研鑽が必要



竹下 LGBT法制定に伴う令和5年度実施の人権セミナーには、不適切と思われる内容が含まれていた。LGBT法に関する国の基本計画が未策定、町政策も未定の現状では、LGBT法に関わるセミナーは実施すべきではない。

教育長 令和7年度の人権セミナーについては、現在、実施項目を含め検討中である。

竹下 学校のLGBT教育について、令和7年度の考え方を伺う。

教育長 学校では、人権教育として、人権を尊重する態度や差別・偏見をなくす行動力を育成してきた。今後、LGBT理解増進に係る新たな計画等が制定されても実施すべき教育は同様であるが、指導者においても更に研鑽を深める必要がある。

竹下 学校に於ける人権教育とLGBT理解増進法に関わる学校教育との判別はできるのか。

教育長 人権教育を促進するためにその法律を指導者も理解して進めるべきものと捉えている。

その他

広川町の農業の変遷等について質問した。従事者減少に対して、地域農業の健全な維持と発展に努めると回答された。



竹下 英治 議員



吉常の野菜畑